

平成30年度第3回 県政モニターアンケート結果

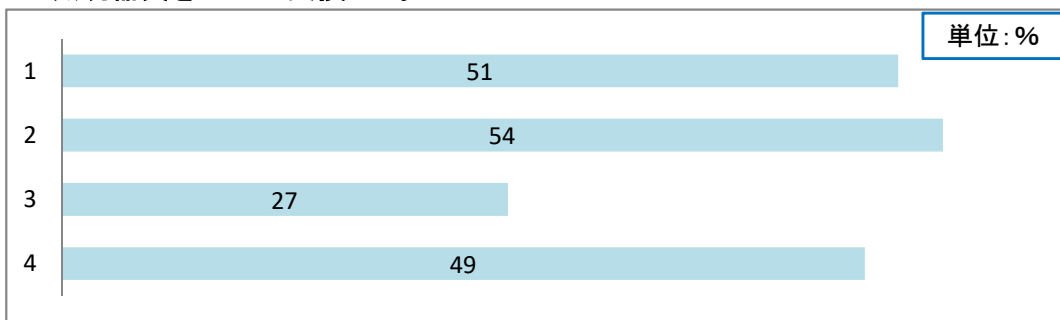
地球温暖化対策課 地球環境係
(TEL 099-286-2586)

テーマ :『地球温暖化対策』に関する県民の意識調査について
調査の目的 :地球温暖化対策は県民一人ひとりが省エネ活動等を継続して実践する必要があることから、現状把握と取組促進の参考とするため。
調査時期 :平成30年7月
調査対象数 :200人
回答者数 :146人(73%)

問1 「電気・水・燃料削減」のために、どんなことに取り組んでいますか。

(複数回答可)

- 1 冷房は28℃以上、暖房は20℃以下に設定している。
- 2 食卓に積極的に県内産・地元産の食材を取り入れている(輸送燃料などの削減)。
- 3 電気代や水道代の月々料金の上限目標を設定している。
- 4 照明器具をLEDに交換した。



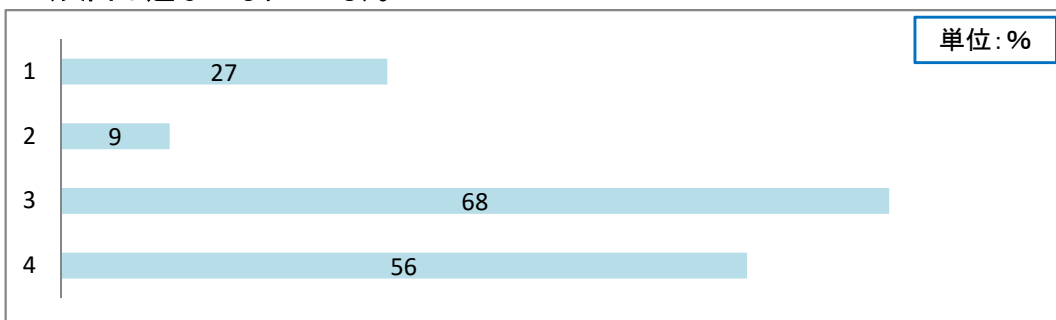
【その他意見】(抜粋)

- ・ バイク, 車通勤を自転車に変えた。
- ・ 使わないコンセントは抜いておく。水道の流水量を少ししぼっておく。茶わん皿洗いをつけ置いて、仕上げは流水で洗う。少量の小物洗濯は手洗いにする。すすぎ水は植木や打ち水に使用する。
- ・ 不用な電気を消す。風呂は家族で間隔をあけずに入る。
- ・ 庭にまく水は雨水をためて、それを利用している。
- ・ 冬の陽のさす暖かい部屋, 夏は風の入る涼しい部屋を使い冷暖房をなるべく使用しない。

問2 「車からのCO2排出量削減」のために、どんなことに取り組んでいますか。

(複数回答可)

- 1 公共交通機関や自転車, 徒歩での移動を心がけている。
- 2 通勤や買い物の際などに、週1日はノーマイカーの日を設けている。
- 3 エコドライブを心がけている。
- 4 車を購入するとき環境性能の高い車(ハイブリッド車, 電気自動車など)を選んだ(次回は選ぶつもりでいる)。



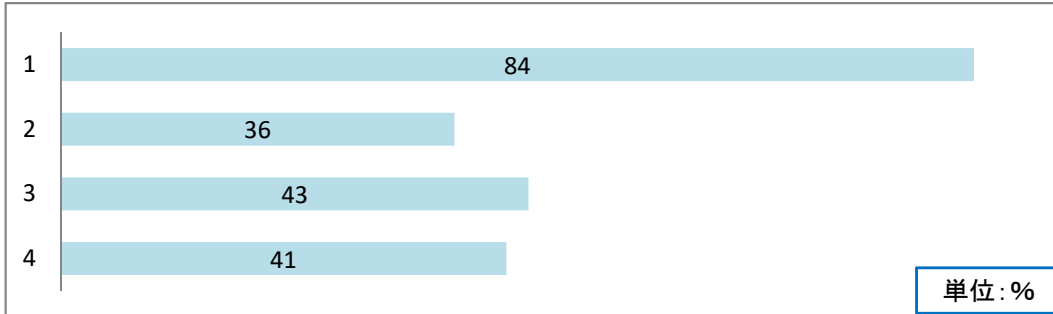
【その他意見】(抜粋)

- ・ 荷物を積みっぱなしにしない。
- ・ 駐停車中なるべくエンジンを切って待つ。
- ・ 排ガス削減の為に、スピードを出したり、無理な運転をしなく心がけている。
- ・ 車を購入する時はできるだけ燃費のいい車をえらぶ。
- ・ 買い物は週1にしてまとめ買い。

問3 「廃棄物の減量化やリサイクル」のために、どんなことに取り組んでいますか。

(複数回答可)

- 1 詰替えのできる商品を選んだり、簡易包装にしてもらったりしている。
- 2 リサイクル品など環境物品の購入に努めている。
- 3 3R(スリーアール)に努めている。
- 4 宴会・会食等においては、「30・10(さんまる・いちまる)運動」の呼びかけを行い、食べ残しが出ないように努めている。

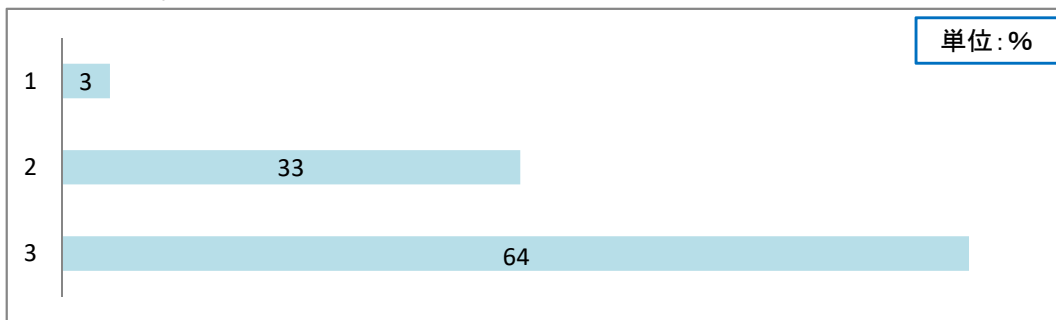


【その他意見】(抜粋)

- ・ ゴミの分別(プラ類)に積極的に取り組んでいる。
- ・ 百円均一商品等も簡単に購入しない。他の物で代用するとか多様な使い方ができる品を購入する。
- ・ 食事処では量の多い主食など少なくして貰うよう依頼する。
- ・ 毎回買い物は袋を持参する。習慣づけばOK。じかに袋代を引いてくれるのはうれしい。
- ・ 買った食品などをムダなく使いきる。
- ・ ゴミ問題など皆で考える場を設けている。

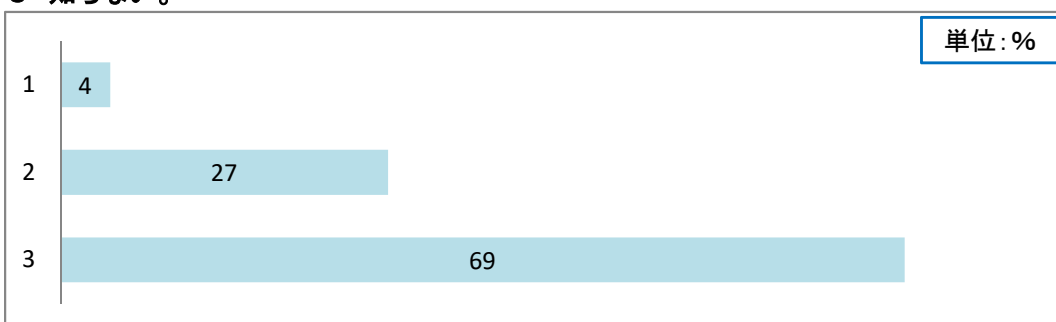
問4 家庭における光熱水費の削減について診断を行う「うちエコ診断」を知っていますか。

- 1 知っており、診断を受けたことがある。
- 2 知っているが、診断を受けたことはない。
- 3 知らない。



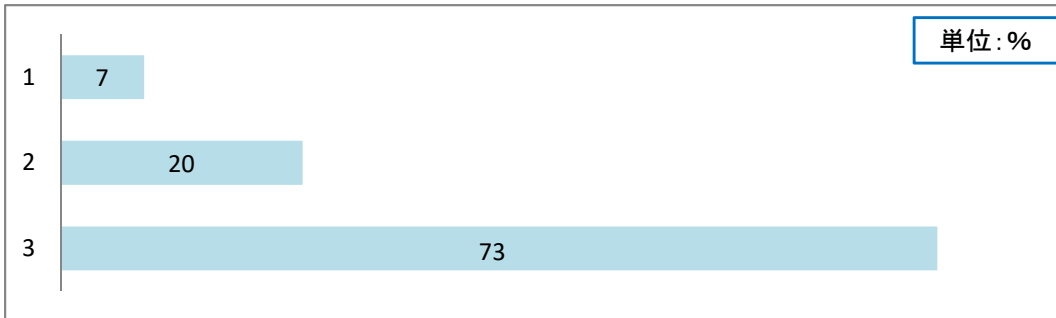
問5 (県本土にお住まいの方のみ御回答ください)マイカー通勤(自動車、バイク)の方が毎週水曜日にバスや鹿児島市電を小人運賃で利用できる「エコ通勤割引パス」を知っていますか。

- 1 知っており、利用したことがある。
- 2 知っているが、利用したことはない。
- 3 知らない。



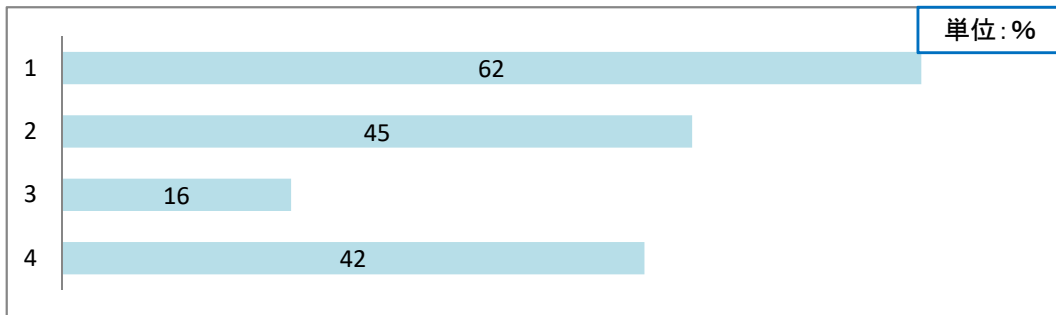
問6 節電に係る家庭での取組「九州エコライフポイント」を知っていますか。

- 1 知っており、参加したことがある。
- 2 知っているが、参加したことはない。
- 3 知らない。



問7 公共交通機関(電車, バス)や自転車, 徒歩での移動が取り組みやすくなるには, どのようなことが効果的だと思いますか。(回答は2つまで)

- 1 公共交通機関の便数増による利便性向上
- 2 公共交通機関の乗継ぎにおける利便性向上
- 3 バスロケーションシステムの導入
- 4 パークアンドライドの駐車場確保



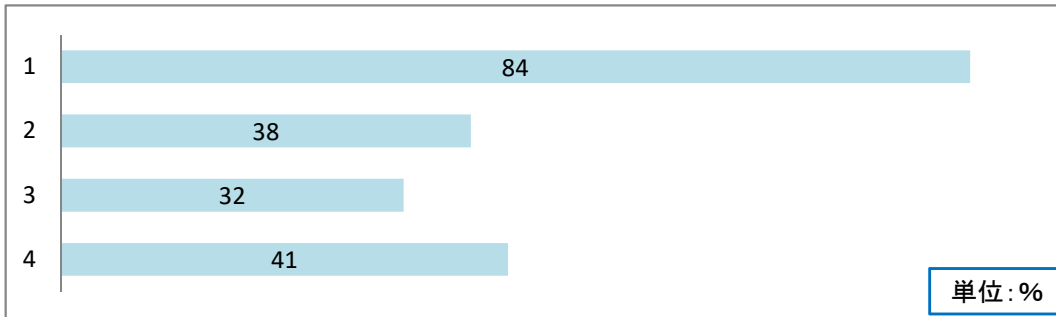
【その他意見】(抜粋)

- ・ どのバスがどういった経路を通過ってどこに向かうのか, 普段のそのバスを利用している人でないと判りにくい。よくバスを利用している人でも自分が普段使っている便以外は理解しづらい。もっと路線が判りやすくする工夫が必要だと感じる。
- ・ 駅前に駐車場がないか, あっても高額だと公共交通機関の料金と比較して車を使ってしまう。行事などではできることならJRを利用すると運転もせずに楽である。出かけた先で, 駅前に駐車場を探すことが大変だと思う。
- ・ 人口の多い地域では, 取り組みやすいが, 公共交通機関はバスしかなく, 自転車, 徒歩での移動への取り組みは難しいところがある。
- ・ 鹿児島市内でのイベント等に出かける時は, JR利用を心がけている。
- ・ 市民のニーズに基づく交通機関の整備

問8 車の買換えの際にどのような状況になれば、電気自動車などの次世代自動車を選びますか。

(回答は2つまで)

- 1 車両購入費用の低下(ガソリン車並)
- 2 税制優遇措置の増加
- 3 航続距離の延長
- 4 主要道路沿いなどにおける充電器施設の増設



【その他意見】(抜粋)

- ・ 電気自動車に使用する燃料電池の最終処分が問題になっていると聞いている。本当の意味で地球環境に良いと理解できたら購入すると思う。
- ・ 電気自動車が増えると電気の使用量が増えることにより、自動車自体からのCO2排出は抑えられるのかもしれないが、増加した電気を供給するための発電施設増設による環境破壊、発電所からのCO2排出やエネルギー放出による温暖化促進等様々な問題が考えられ、電気自動車は本当にエコなのか、はなはだ疑問である。
- ・ 車両価格以外で、バッテリー等消耗品の価格の低下。

問9 その他「地球温暖化対策」に対する御意見等がございましたら御記入ください。

【主な意見】(抜粋)

- ・ 「うちエコ診断」は会社でも実施機関として登録している。県としても積極的にPRし、認知度を高めて欲しい。
- ・ 温暖化対策は日常生活や企業等において、いたる所はかなり改善できる点が多くある。気づきを社会が共有すれば良い。安価な物をむやみに購入して、結局はゴミを増やしている。消費大国の日本の現状を変えることだ。
- ・ 自家用一人のりが余りにも多い。車をやめてから非常に不便である。バスは乗り手が少ないというが、便数を多くして乗客がのり易いように欲しい。又、根本的には道路事情を考慮して片道二車線位に改良して欲しい。
- ・ 一人一人が身の回りで3R運動等できる事から始めたり、家族で話し合う(水を出しっぱなしにしない。TVを深夜までみない等) 街に多くの木々が増えると涼しさが増すのではないかな？
- ・ 道路交通渋滞箇所の早期解消、火力発電所の停止、照明器具のLED化の促進を急ぐべきと考える。
- ・ CO2排出量削減の為、自然エネルギーの活用と電気自動車の普及を進める、又、可燃ゴミの削減も大切。
- ・ 一人ひとりの温暖化対策の積み重ねも大事なこと。同じように大企業から小企業の対策の積み重ね、社会全体のエネルギー対策はより大事なことのような気がする。
- ・ 学校で教えていくこと、また職場での取組も必要と考える。将来の地球温暖化をもっと全体で心配していくことが必要と思う。
- ・ 私一人がやったってではなく、みんなが考えて行動して欲しいです。
- ・ 近年の異常気象などはまさにこの地球温暖化によるものが大きいと思う。一人一人の取り組みが大切です。
- ・ 木の伐採をしたら植栽する。災害も防げる。